

教材名

一年
中心を明確にして話そう
「似ている言葉」スピーチ

組

番

氏名

1 第一中学校の三年生は、卒業生から学が会を開いています。その中で、高校生の橋本さんが、書道パフォーマンスについて動画を聞いて話しています。次の「橋本さんの話」、「場面②で映している画面」、「場面③で映している画面」を読んで、あとの問いに答えなさい。



【橋本さんの話】

場面①

皆さん、こんにちは。青空高校の橋本です。今日は、私が所属する書道部で行っている書道パフォーマンスの魅力についてお話します。書道パフォーマンスでは、複数のメンバーで一つの作品を書き上げます。これが、書道パフォーマンスの魅力だと私は思います。早速ですが、四月の新生歓迎会で私たちが行った書道パフォーマンスの様子をご覧ください。

場面②

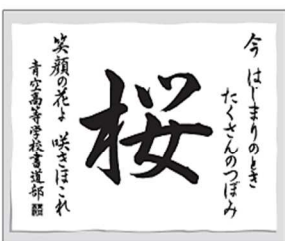
ここで一度止めます。書道パフォーマンスでは、このように教室の半分くらいのとても大きな紙を使います。このとき私は、真ん中の文字を担当しました。私が使っている筆は墨を吸うとかなりの重さになり、文字を書くのがとても大変です。他のメンバーも皆、それぞれ担当する文字に集中し、体全体を使って書いています。それでは、私たちの動きに注目して、作品が完成するまでの様子をご覧ください。

【場面②で映している画面】



場面③

いかがでしたか。今映し出されている作品の言葉は、メンバーで話し合い、新人生を花のつぼみにたとえ、笑顔の花が咲くことを願って選びました。それから、一つの作品として文字の調和をとることを大切にしました。メンバー五人が、それぞれ自分の書きたいように書いていては、よい作品にはなりません。そのため、中学校の授業で学んだ行書の特徴を確認しながら、何度も練習しました。このように、私はメンバー全員で力を合わせて一つの作品を作り上げることに魅力を感じています。皆さんにも、書道パフォーマンスの魅力が伝わり、興味をもってもらえたらうれしく思います。



三 この会の最後に、第一中学校の生徒がお礼の言葉を述べます。あなたなら、橋本さんに対してどのように述べますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 橋本さんへのお礼の言葉を実際に話すように書くこと。

条件2 橋本さんの伝えたいことを取り上げて、自分がそれをどのように受け止めたのかが分かるように具体的に書くこと。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

(例) 橋本さん、本日はありがとうございました。橋本さんのお話を伺って、メンバー全員で力を合わせて一つの作品を作り上げる書道パフォーマンスの魅力がよく分かりました。私たちも、力を合わせて学校行事などに取り組み、充実感を味わいたいです。